

令和5年12月1日

別府大学短期大学部 学生の皆様へ

別府大学短期大学部
学長 友永 植

学生代表との点検・評価会議及び授業改善を図るための会議を終えて(ご報告)

別府大学短期大学部における3ポリシー(卒業の認定に関する方針(DP)・教育課程の編成及び実施に関する方針(CP)・入学者の受け入れに関する方針(AP))を踏まえた取組に関し、その適切性について学生代表の皆様から意見をいただき、教員との意見交換を下記の通り実施いたしました。

その後、引き続いて、同代表学生より、授業改善に役立てるための学生の視点からの意見をいただき、教員等との意見交換をいたしました。

上記の会議における代表学生の皆様からの主な意見及び改善に向けての短期大学部の取組を報告します。なお、今後も継続して、学生の皆様から意見をいただき、授業改善等に取り組んでまいりますので、協力方よろしく願いいたします。

記

1. 学生の代表者との点検・評価会議

日時 令和5年9月15日(金)13時～14時

場所 1号館 21・22 教室

2. 学生代表者との授業改善を図るための研修会

日時 令和5年9月15日(金)14時10分～15時10分

場所 1号館 21・22 教室

3. 学生出席者

10名(氏名は、省略)

4. 教職員出席者

学長、副学長、学長補佐(教務担当・学生担当)、学科長(食物栄養科・初等教育科)、教員、大学事務局長、短大事務局長、学生事務部長、事務局職員(4名) 計16名

以上

令和5年度学生との点検・評価会議及び 授業改善を図るための学生参画会議における 「主な意見と短期大学の対応」

令和5年9月15日実施

	学生の要望・意見	短期大学の対応
1	前期末テストが返却されていない科目がある。返却を行って欲しい。	後期が始まり、講義時間内に成果物を返すことが難しいことがあります。オフィスアワー等の時間を利用し返却できる環境を作ります。
2	社会人としての常識について講義の中で指導をして欲しい。	進路指導の中で一般常識の問題演習等に取り組んでいるが、皆さんから見て将来社会に出た時に、こういう社会常識を身に付けておきたい。大学で指導してほしいなど具体例を今後ともお聞かせください。
3	2号館 252教室のスクリーンの映りが良くないので、プロジェクターを替えて欲しい。	確認し、必要があれば早急に新しいものに替えるよう検討します。
4	時計がない教室があるのでつけて欲しい。	今後、検討します。
5	時計が設置されている教室で時刻が合っていないことがあるので、随時合わせてほしい。	対応しますので、時刻があっていない教室を教務課まで連絡願います。
6	2号館調理室の試食室にプロジェクターとスクリーンを設置して欲しい。	設置するように検討します。
7	241教室の雨漏りは直りましたでしょうか。	修繕済みです。
8	ピアノの個別レッスン室にエアコンの調子が良くない教室がある。	夏休み中に個別レッスン室のエアコンを全て入れ替えました。
9	Wi-Fiを強化してほしい。大勢での講義中、インターネットで調べ学習をする際に、通信が止まったり切れたりすることがある。	Wi-Fi設備はこのたび、全面的に入れ替えを行いました。現在把握している繋がりにくい不具合のほとんどがiPhoneで、iPhoneの設定を変更すれば正常に繋がるようになるはずです。このことを学生に周知していきます。
10	丸善キャンパスショップで教科書や文房具を買うための専用レジを作って欲しい。(食品等とレジを別にする)	丸善キャンパスショップと協議した結果、「別にレジを設置することはできないが、必要な学生はレジに声をかけてもらい、先に対応する」こととなりました。
11	2号館 252教室のモニターが先生方の使っているパソコンと接続が悪く、映像が途切れるので改善して欲しい。	パソコンとの接続について確認します。
12	時間を守って講義に出席している学生と、遅刻して来る学生の評価の違いをしっかりとつけて欲しい。	このような意見があったことを教授会等で伝えます。
13	学内施設の場所が分かりにくく、昨年まであった施設検索機能がなくなっているような気がする。	施設検索機能は引き続き稼働しています。moodleの検索方法が変更されました。Moodle内の「マイコース」『教室検索システム』で確認(検索)してください。
14	空き教室が分かるようにして欲しい。アプリに入れてもらえるとう嬉しい。	一部の空き教室(34号館と4号館)については5限目からの空き教室を掲示しています。また、図書館や39号館ラーニングコモンズなどが使用できる案内も既に流しています。アプリで空き教室が把握できるように検討します。
15	学生用の駐車場を設置して欲しい。	本学は敷地が狭く、駐車場設置には新たな土地購入が必要となりますが、大学周辺に適切な場所がないため整備は難しい状況です。

		また、学生生活 HANDBOOK 上でも、やむを得ない事情がある学生を除き、本学では自動車通学を禁止することを記載しています。【HANDBOOK「学生生活に必要な手続きと心得」13.その他(4)を参照】
16	保育士の就職フェアを学内で行って欲しい。	大学内で開くことは難しいのが現状です。大分市や自治体が行っている仕事フェアに大学からバスで参加してもらう形を可能な限りとっています。その他にも保育連合会や幼稚園の連合会にキャラバンで来てもらう等の機会を設けています。
17	研究会活動が90時間で単位認定となっているので、合計時間を確認できるようにして欲しい。	合計時間が確認できるように、書式を作り直し見直していきたいと思います。
18	授業改善プランでは、しっかりと学生の声が届いていると感じるものがある反面、改善されていないと感じるものもある。また、授業の展開の仕方に工夫がなされていないと感じるものがあるので、見直しをして欲しい。	改善点についての説明は随時行っています。気になる点等は、科目担当教員に早めに指摘をしてください。
19	「数理データサイエンス」では、第1回目の課題を提出した後、解答を示されずにその後の授業が進むと聞いた。課題を提出した後に解答を示して欲しい。	解答はすべて授業中に示し、理解しないまま過ごすことがないようにしています。課題を毎週返却できるよう努力していますが、複数の教員や TA で採点しても間に合わないことがあります。今後は工夫しながら改善し、なるべく早いフィードバックを心掛けます。
20	授業評価アンケートは、Web ではなく紙で実施した方が良くと思う。	授業評価アンケートは、集計後速やかに結果を教員にフィードバックし対応するために、オンラインで行っています。
21	授業評価アンケートは、「そう思う」「そう思わない」等の単純な回答様式にせず、文章で回答できる形式にした方が具体的な問題点がわかり、改善に繋がると思う。	授業評価アンケートにいろいろな意見を書きたい学生もいれば、そうではない学生もいます。自由記述欄を設けているので、そちらにも回答を寄せていただくよう協力をお願いします。また、授業評価アンケート実施の際やそれ以外の時にも、学生に声掛けを行い、様々な意見を得られるよう努力していきます。
22	調理実習を行う班について、調理の得意な学生が一人で行う場合があり、不得意な学生の勉強にならないと思うので、班編成の変更を希望する。	調理実習以外のグループ学習においても、以前から多くの意見があり、たとえ班編成を変えたとしてもクレームが出るという現状があります。グループ学習においては、コミュニケーション能力を培うこともひとつの勉強としてとらえていただきたいと思います。トラブルがあった場合早めにお知らせいただければ、教員と学生とで話し合いながら改善していきます。
23	食物と初教の学生が同じ介護等体験実習に行った際、事務連絡の行き違いがあり、教員間での連携がとれていないのではないかと感じた。	今後は学科間の連携をしっかりと取り改善していきます。
24	授業評価アンケートの時間外学習の平均時間について、週によって大きく異なることがあるため、どのように計算したらよいかかわからない。具体的な時間を記入できるようにして欲しい。	授業評価アンケートの時間外学習時間については、半期を振り返っておおよその平均時間を記入してもらっていますが、時間の選択肢の刻みを細かくした方が回答しやすい等の意見があれば、他大学のアンケートも参考に質問を変更していきます。また、このような質問だったら答えやすいといったものを随時御指摘いただければ、改善のヒントにさせていただきます。
25	専攻科は教員を目指す学生が多いと思うが、そうした意識の低い人が多いような気がする。例えば、授業を休み、その時間に旅行に行ったことをインスタグラムにアップした学生がいた。専攻科への進学者を厳選した方がいいと思う。	常識的な観点からみて、逸脱した行いをしている学生に対して、厳しい態度で対処していきます。

26	中庭にカフェのようなスペースを作って欲しい。ちょっとした勉強や、電車の待ち時間、空きコマにリフレッシュのできる場所として活用したい。	学生の憩いのスペースを設置することは、長期的な計画になると思いますが、法人に対し要求・要望していきます。
27	図書館内での話し声がうるさい時や、飲食をしている学生がいたことがあった。一部の学生の行いではあるが、何らかの対策をして欲しい。	図書館の利用マナーの問題については、図書館職員から注意をしてもらいます。
28	ディプロマ・ポリシーの「汎用力」にある思考力、表現力、情報力が身につくよう、図書の利用についてもっと積極的に促進するとよいと思う。	どの大学でも図書館の利活用の低さが問題となっています。今後、図書館の利活用の促進方法について検討します。
29	3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)は、学生からみて理解しにくい。より具体的なものの方が目標にしやすいと思う。	基礎演習等で具体的な説明を行い、理解しやすいようにしたいと思います。
30	食物栄養科のアドミッション・ポリシーに、「地域社会で活躍できる栄養士」の養成を目指すという記載があるが、子供中心の実習が多いため、もっと幅広い世代に関わる実習を増やして欲しい。	地域社会で活躍する栄養士を目指すにあたり、教育課程内で行う授業だけでなく、課外活動である研究会活動における取り組みにより実践力を身につけてもらいたいと思っています。子どもを対象としたアクティブ・ラーニングがあるのは、保育園・子どもに就職する割合が多いためです。
31	初等教育科のカリキュラム・ポリシーのうち、「3.教養科目及び専門科目の共通事項(3)キャリア教育①社会人として働くための力」があるが、具体的な指導をすることが必要だと思う。	「2」と同様のため、省略
32	食物栄養科のディプロマ・ポリシーに「1. 教養(3)情報処理や外国語などの基本的なリテラシーを身につけている」とあるが、それに対応するカリキュラム・ポリシーには、「1. 教養(3)外国語などの基本的なリテラシーを身につけるために、語学の科目を置く。」としか記載がない。情報に関する部分が欠けているように見える。	授業は実施していますが、ご指摘部分のディプロマ・ポリシーに「情報処理」が入っていませんので、挿入します。
33	初等教育科のカリキュラム・ポリシー「3. 教養科目及び専門科目の共通事項(2)初年次教育」にある、科別オリエンテーションや履修登録方法説明会において、先輩の履修登録例を示して欲しい。	出来るだけ自身で考え履修登録をお願いしたいと思いますが、必要があれば教員に相談をお願いします。
34	平成30年度にスロープ化、令和2年度にバリアフリー化の環境整備を行っているようだが、他にもバリアフリー化(ユニバーサルデザイン化)が必要な個所があるのではないかと感じる。	出来るところは対応していますが、3号館へのエレベーター設置等難しいところもあります。今後とも必要と思われるところについては、検討を継続していきます。
35	コロナ禍に伴うクーポンは、使える期間を長くし、教科書の購入にも使えるようにして欲しい。	本年度については、教科書の購入にも使えるように時期・期間について対応しました。
36	短大の棟の近くに飲物の自動販売機が欲しい。	現在学内では、剣道場横、3号館学食前、第2体育館入口、32・34号館の間の通路に自動販売機を設置しています。キャンパスショップでも飲料の購入が可能です。学内の適正数などを自動販売機業者も含めて検討していきます。
37	23号館と4号館との連絡橋を作って欲しい。	構造上難しいので、ご理解をお願いします。
38	ピアノの台数を増やして欲しい。	個室、電子ピアノともに、授業、個人練習に十分な数をそろえています。これ以上増やすためには建物自体の改修が必要となります。授業時間の使用については授業クラス優先です

		ので譲り合って使用して下さい。許可制ですが、早朝、土曜日の貸し出しもしています。
39	図書館の蔵書検索方法が難しいので、もう少し簡単に調べられるようにしてほしい。	図書館検索ページに、「検索マニュアル」のリンクを貼ります。また、検索について困ったら図書館カウンターに来てください。
40	レポートのレベル向上につなげるため、評価の基準を教えて欲しい。レポートの書き方の練習として、教員が簡単なレポート課題を出し、採点することで、改善点が見えるようになると思う。	レポート作成スキル向上のため、ルーブリックによる評価基準を設け、評価結果を履修者にフィードバックするなどの工夫をすすめているところです。ルーブリック評価に対応する授業を拡大していきます。
41	事務局やキャリア支援センターに気軽に行けるような雰囲気や対応が欲しい。	これまでも事務局等に入りやすい雰囲気を作り、対応についても研修を行う等していますが、今後とも更に改善するよう努力していきます。
42	「授業評価報告書」がホームページに記載されていることを知らない学生が多いようで、周知に努めて欲しい。	学生への周知方法等を検討します。
43	授業の空き時間がなく、課題が多いので、学習時間が減っています。	CAP 制の制限内であっても、学生によって授業や課題の負担の感じ方が異なるため、面談等で適切な履修指導を行っています。
44	各講義の中で軸となることをより明確に定めて授業をしてもらえれば学生も理解しやすいのではないかと思います。	授業の到達目標や DP との対応はシラバスで示しています。もし不明確だと感じる箇所が具体的にあれば担当教員に申し出たり、授業評価アンケートの回答に記載してください。
45	GPA の重要性を理解していない人が少なからずいるように思うので、このことについての説明を学期ごとに行ったらどうだろうか。	入学時のガイダンスや基礎演習等で説明をしていますが、成績発表、就職や進学、奨学金手続きなど折に触れて重要性を説明していきます。
46	卒業に必要な必修科目を落としている学生もいるので、必修科目の単位が卒業する際に必要であることをしっかり伝えるべきだと感じる。	基礎演習等で具体的な説明を行いたいと思います。
47	全体的に評価が良くない科目は、何を復習すればいいかわかりやすくするため、別途課題を設けた方が良いと思う。	評価後に追加課題を設けることは出来ませんが、復習に取り組みやすくなるように、評価基準の明確化や課題返却を行います。
48	成績評価の開示と同時に素点の開示も行って欲しい。	現在、素点の開示は行っていません。
49	「GPA による成績分布」を成績発表の時に見せることで、休み中に勉強に励むきっかけになるのではないかと思います。	各人は、自分の成績を見て、勉強に励んでいただき、「成績分布」は、参考程度に考えてください。
50	クラス別の同じ科目の GPA で、かなりばらつきがある。同じ科目でも担当教員の違いから評価に差があることが気になった。	できるだけ、ばらつきが無いように教員間で授業を共通していますが、今後とも継続していきます。
51	「器楽」は「C」の評価が多いと思うが、なぜだろうか。	保育・教育現場で子どもたちの前でピアノを使用できるよう技術面、平常点、実技試験から評価基準を設定しています。
52	在学生ポータルにログインする際のパスワードが e-learning にログインする際のパスワードと異なっているので、統一した方がわかりやすいと思う。	e-Learning システムを改修し、ポータル等で使用する統一パスワードでログインできるように対応します。
53	ロッカールームに土足で入れるよう、今のものとは別に作って欲しい。またロッカー自体を広くして欲しい。	現在のところ、対応できません。
54	短大も大学の行事に参加できるようにしてほしい。情報が来ないまま行事が終わっていて、人間関係を築くことなく学生生活が終わってしまうのは良くない。	昨年から、体育祭、さつき祭、石垣祭等の学校行事を再開しました。その際には、一斉メール等でも大学及び短大の学生のみなさんにご案内をしてきました。新型コロナの影響もあり周知が足りなかった部分もあると思いますので、今後ともそれぞれの実行委員会と協力し周知を行います。

55	「器楽」のレッスンは、先生によって厳しさが違うように感じる。	個々の先生方により教え方や伝え方など若干違うことはありますが、年に2回音楽会議、評価の平準化会議を実施し、評価内容の確認、学生の様子、授業評価アンケートの内容について情報共有を行っています。授業に関する基準はすべて同じにしています。
56	保育士のコースの授業内容ではもっと実践的なことも取り入れた方がよいと思う。(手遊び、ペープサート、パネルシアター等)	専門科目において、関連科目内で協議しバランスよく取り入れています。さらに深く学びたい人は、ぜひ研究会活動に参加するなどして、実践力を磨いてください。
57	実習先の変更ができるといいのではないか。	実習先の決定については、大学と実習先との協定に基づき、実習先の指導体制の確保状況などを踏まえて調整しているため、容易な変更は困難な状況です
58	指導作成案は、個人で取り組ませた方がよいと思う。	指導案作成は個人で取り組む場合や、チームで取り組む場合があります。各授業間で個人/チームの取組のバランスを取っていきます。
59	現場の先生が勤務1年目だったころに意識していたことやその後熟達化の話を聞きたい。	実習指導や保育・教職実践演習などを中心に、現場の先生方の体験談を聴講できる機会を増やしていきます。また、実務家経験のある教員が多いため、授業の合間などに気軽に相談してください。